

1.	②	11.	①	21.	①	31.	③	41.	①
2.	①	12.	③	22.	③	32.	③	42.	②
3.	②	13.	②	23.	②	33.	①	43.	①
4.	②	14.	④	24.	②	34.	②	44.	③
5.	①	15.	③	25.	③	35.	①	45.	③
6.	②	16.	①	26.	④	36.	②	46.	①
7.	②	17.	④	27.	①	37.	④	47.	④
8.	①	18.	②	28.	①	38.	②	48.	①
9.	③	19.	③	29.	③	39.	①	49.	③
10.	①	20.	①	30.	③	40.	③	50.	④

1.

解答 ②

【解説】

英単語「bill」は、名詞として「請求書」という意味で最もよく使われます。商品やサービスに対して支払うべき金額が記載された明細書を指します。例えば、「ガス代の請求書」は **a gas bill** と表現します。選択肢①「建物」は **building**、③「小球」は **ball**、④「鐘」は **bell** です。

◆補足：bill には他に、アメリカ英語で「紙幣」(例：a dollar bill) や、議会で提出される「法案」といった重要な意味もあります。また、鳥の「くちばし」を指すこともあり、文脈に応じた意味の把握が求められる多義語です。

2.

解答 ①

【解説】

「～を率いる、長を務める」という意味に最も近い英単語は①の **head** です。組織や部門の責任者・トップであることを示します。例えば、「彼はその部門の長を務めている」は **He heads the department.** と表現します。他の選択肢について、② **lead** も「率いる」という意味ですが、より「先導する」というニュアンスが強く、③ **rule** は「～を支配する」、④ **own** は「～を所有する」という意味です。

◆補足：head は名詞として「頭」を意味することから、比喩的に「組織の頭 (トップ)」となり、そこから動詞として「長を務める」という意味が生まれました。また、「～へ向かう」という意味も持ちます (例：head for the exit 出口へ向かう)。

3.

解答 ②

【解説】

「応募者、志願者」という意味に最も近い英単語は②の **applicant** です。仕事や入学などを公式に申し込む人を指します。例えば、「その仕事には多くの応募者がいた」のように使います。他の選択肢について、① **accountant** は「会計士」、③ **assistant** は「助手、アシスタント」、④ **appliance** は「(家庭用) 電化製品」という意味です。

◆**補足**：**applicant** は、動詞 **apply** (申し込む) に、人を表す接尾辞 **-ant** が付いた形です。関連語として、**apply for a job** (仕事に応募する) や **application form** (申込用紙) などをセットで覚えることが重要です。

4.

解答 ②

【解説】

英語表現「**take place**」は、「(予定された催しなどが) 行われる、開催される」という意味です。祭りや会議、結婚式など、あらかじめ計画されたイベントが起こることを指します。例えば、「そのコンサートは来週行われる」は **The concert will take place next week.** と表現します。選択肢①「～に参加する」は **take part in** ～、③「～に取って代わる」は **take the place of** ～、④「～を引き継ぐ」は **take over** が対応します。

◆**補足**：類義語の **happen** や **occur** は、予期せぬ出来事や事故に対しても使えますが、**take place** は計画されたイベントに対して使われるのが一般的です。

5.

解答 ①

【解説】

「集中する」という意味に最も近い英単語は①の **focus** です。注意や関心を一つのことに注ぎ、他のことからそらすことを指します。**focus on** ～ の形で「～に集中する」と使われることが非常に多いです。他の選択肢について、② **force** は「～を強いる」、③ **forgive** は「～を許す」、④ **follow** は「～に従う、～の後についていく」という意味です。

◆**補足**：**focus** の名詞形も **focus** で、「焦点、中心」を意味します。元々はラテン語で「炉、暖炉」を意味する言葉で、家の中心であることから現在の「焦点」という意味に発展しました。類義語の **concentrate** とほぼ同じ意味で使えます。

6.

解答 ②

【解説】

英単語「hardly」は、「ほとんど～ない」という意味の、否定のニュアンスを持つ副詞です。程度が非常に低いことを表します。例えば、「彼の言っていることはほとんど信じられない」は **I can hardly believe what he is saying.** と表現します。選択肢①「熱心に、一生懸命に」は **hard** です。hardly は hard の副詞形ではない点に注意が必要です。③「有害に」は **harmfully**、④「ほとんど」は **almost** です。

◆補足：hardly は「準否定語」と呼ばれ、文中にあればその文は否定文として扱われます。hardly ever（めったに～ない）や hardly any（ほとんど何の～もない）といった形でも使われます。

7.

解答 ②

【解説】

英単語「initially」は、「最初は、初めに」という意味の副詞です。物事の初期段階の状況を説明する際に使われ、しばしば後の変化と対比されます。例えば、「最初は計画に反対だったが、今は賛成している」のように使います。選択肢①「最終的に」は **finally** や **eventually**、③「意図的に」は **intentionally**、④「内部で」は **internally** が対応します。

◆補足：initially は、形容詞 **initial**（最初の）に、副詞を作る接尾辞 **-ly** が付いた形です。動詞形は **initiate**（～を開始する）です。ラテン語の **initium**（始まり）を語源としており、これらの単語を関連付けて覚えると効果的です。

8.

解答 ①

【解説】

英単語「emotion」は、「感情、感動」という意味の名詞です。喜び、怒り、悲しみ、恐れといった、人の強い気持ちを指します。例えば、「感情を隠す」は **hide one's emotions** と表現します。選択肢②「動き」は **motion** で、発音が似ているため注意が必要です。③「雇用」は **employment**、④「地位」は **eminence** や **status** です。

◆補足：emotion の語源は、ラテン語の **e-**（外へ）＋ **movere**（動かす）で、「心を外へ動かすもの」というイメージが「感情」につながっています。形容詞形は **emotional**（感情的な）です。一般的な「気持ち」を指す **feeling** と比べて、emotion はより強く、時にコントロールが難しい心の動きを指すことが多いです。

9.

解答 ③

【解説】

「印象」という意味に最も近い英単語は③の **impression** です。人や物事について、見たり聞いたりして心に抱く感じや考えを指します。例えば、「第一印象」は **the first impression** と表現します。他の選択肢について、① **expression** は「表現、表情」、② **depression** は「憂鬱、不況」、④ **possession** は「所有、所有物」という意味の名詞です。

◆補足：**impression** は、動詞 **impress**（～に感銘を与える、～を感動させる）の名詞形です。**make a good impression on ～**（～に良い印象を与える）や、**be under the impression that ...**（…という印象を持っている、…と思い込んでいる）といった定型表現でよく使われます。

10.

解答 ①

【解説】

「取締役、監督」という意味に最も近い英単語は①の **director** です。会社の「取締役」や部門の「責任者」、あるいは映画や演劇の「監督」など、組織や活動を指導・管理する立場の人を指します。他の選択肢について、② **doctor** は「医者」、③ **detective** は「探偵」、④ **driver** は「運転手」です。

◆補足：**director** は、動詞 **direct**（～を指揮する、～を向ける）に、人を表す接尾辞 **-or** が付いた形です。**direction**（指示、方向）や **direct**（直接の）といった関連語とまとめて覚えると効率的です。

11.

解答 ①

【解説】

「財団、基金」という意味に最も近い英単語は①の **foundation** です。研究、教育、慈善活動といった特定の目的のために資金を提供する組織を指します。例えば、「慈善財団」は **a charitable foundation** と表現します。他の選択肢について、② **fountain** は「噴水」、③ **function** は「機能」、④ **fraction** は「一部、分数」を意味します。

◆補足：**foundation** には、より基本的な意味として「(建物の) 土台、基礎」や、「(考えなどの) 根拠、基礎」もあります。動詞 **found**（～を設立する）の名詞形であり、「設立されたもの」というイメージが共通しています。

12.

解答 ③

【解説】

「～を（期間を定めて）雇う」という意味に最も近い英単語は③の **hire** です。特定の仕事のために、人を一時的に、あるいは期間を定めて雇い入れることを指します。例えば、「新しいアシスタントを雇

う」のように使います。他の選択肢について、① fire は「～を解雇する」で hire の対義語、② desire は「～を強く望む」、④ admire は「～に感心する」という意味です。

◆補足：hire は、より長期的で公式な雇用を表す employ と比べて、より短期的・一時的な雇用というニュアンスで使われることが多いです。また、イギリス英語では「(車など)を借りする」という意味でも使われます。

13.

解答 ②

【解説】

英単語「network」は、「網状組織、ネットワーク」という意味の名詞です。線、道、コンピュータなどが複雑につながったシステムや、互いに連絡を取り合う人々のグループを指します。例えば、「通信網」は a communication network、「人脈」は a social network と表現します。選択肢①、④は発音が似ていますが、「次の仕事」は next work、「純資産」は net worth です。③「首飾り」は necklace です。

◆補足：network は、net（網）と work（働き、作品）が組み合わさった複合名詞で、「網の働き」というイメージが核となっています。動詞としては「(仕事のために)人脈を作る」という意味で使われます。

14.

解答 ④

【解説】

「(人・目的・状況)に合う」という意味に最も近い英単語は④の suit です。色、スタイル、状況、人の個性などに「ふさわしい、適している」ことを表します。例えば、「その色は君に似合うね」は That color suits you. と表現します。他の選択肢について、① fit は主にサイズや形が「ぴったり合う」こと、② match は色や柄などが「調和する」こと、③ shoot は「～を撃つ」という意味です。

◆補足：服の文脈でこれら3つの動詞を使い分けることが重要です。The jacket fits me. (サイズが合う)、The tie matches my shirt. (ネクタイとシャツの色合いが合う)、The formal dress suits the party. (そのドレスはパーティーにふさわしい)のように、それぞれの核となる意味を理解しましょう。形容詞形は suitable (適切な)です。

15.

解答 ③

【解説】

英単語「overall」は、「全体的な、総合的な」という意味の形容詞です。個々の部分ではなく、すべてを含めた合計として物事を捉える際に使われます。例えば、「全体的な評価」は the overall evaluation

と表現します。選択肢①「海外の」は **overseas**、②「過度の」は **excessive** や **overdue**（期限切れの）、④「圧倒的な」は **overwhelming** です。

◆補足：**overall** は副詞としても使われ、「全体的に見て、概して」という意味になります（例：Overall, it was a good year.）。また、名詞として「つなぎ服（作業着）」という意味もありますが、文脈で判断は容易です。

16.

解答 ①

【解説】

「遅延、遅れ」という意味に最も近い英単語は①の **delay** です。物事が予定されていた時刻よりも遅れて起こる状況を指します。例えば、「電車の遅れ」は **a train delay** と表現します。他の選択肢について、② **decay** は「腐敗、衰退」、③ **display** は「展示」、④ **delight** は「大きな喜び」という意味の名詞です。

◆補足：**delay** は動詞としても使われ、「～を遅らせる」という意味になります。**without delay**（遅滞なく、すぐに）という副詞句は、ビジネスの文脈などでよく使われる重要な表現です。

17.

解答 ④

【解説】

英単語「**require**」は、「～を要求する、必要とする」という意味の動詞です。規則や状況によって、何かが不可欠であることを示します。例えば、「この仕事は経験を必要とする」は **This job requires experience.** と表現します。選択肢①「～を引退する」は **retire**、②「～に返信する」は **reply**、③「～を後悔する」は **regret** です。

◆補足：**require** は、**need** よりもフォーマルな言葉で、客観的な必要性や規則による要求を表すことが多いです。名詞形は **requirement**（必要条件）です。**require A to do** の形で「A に～するよう要求する」という第五文型の構文も頻出です。

18.

解答 ②

【解説】

英単語「**pause**」は、「一時停止、小休止」という意味の名詞です。話や行動を、後で続けることを前提に、短時間止めることを指します。動詞としても「一時停止する」という意味で使われます。例えば、「彼は一息つくために立ち止まった」は **He paused to take a breath.** と表現します。選択肢①「原因」は **cause**、③「句」は **phrase**、④「約束」は **promise** です。

◆補足：pause は、完全に「やめる」ことを意味する stop とはニュアンスが異なります。pause には「再び始める」という含みがあります。give someone pause という熟語は、「(人)をためらわせる、考え込ませる」という意味です。

19.

解答 ③

【解説】

「(機械で大規模に)～を製造する」という意味に最も近い英単語は③の manufacture です。工場で機械を使って、製品を大量に生産することを指します。例えば、「自動車を製造する」は manufacture cars と表現します。他の選択肢について、① manipulate は「～を巧みに操る」、② maintain は「～を維持する」、④ manage は「～を経営する、何とかやり遂げる」という意味です。

◆補足：manufacture の語源は、ラテン語の manu (手で) + factura (作ること) です。元々は「手工業」を意味していましたが、産業革命以降、現在の「機械による大量生産」という意味に変化しました。名詞形は manufacturer (製造業者、メーカー) です。

20.

解答 ①

【解説】

英語表現「cut down on ～」は、「(消費する量など)を減らす、～を切り詰める」という意味です。特に、健康や節約のために、食べ物や出費などの量を減らすという文脈でよく使われます。例えば、「甘いものを減らす」は cut down on sweets と表現します。選択肢②「～を中止する」は call off ～、③「～に追いつく」は catch up with ～、④「～を軽蔑する」は look down on ～ が対応します。

◆補足：文字通り木を「切り倒す (cut down)」イメージから、数量を「切り詰める」という意味に発展したと考えると覚えやすいです。類義語の reduce よりも、日常的で口語的な響きがあります。

21.

解答 ①

【解説】

「～に参加する」という意味に最も近い英語表現は①の take part in です。会議、活動、イベントなどに加わることを表します。例えば、「私はその議論に参加した」は I took part in the discussion. と表現します。他の選択肢について、② take place は「(催しなどが)行われる」、③ take over は「～を引き継ぐ」、④ take after は「(親など)に似ている」という意味です。

◆補足：類義語の participate in ～ よりも、take part in ～の方が日常的で口語的な表現です。この場合の part は「役割、一部」を意味し、「活動の一部を担う」というイメージが「参加する」という意味につながっています。

22.

解答 ③

【解説】

英単語「fee」は、特に専門的なサービスに対して支払われる「料金、報酬、謝礼」を指します。また、入学金や会費、手数料といった意味でも使われます。例えば、「弁護士費用」は a lawyer's fee、「入場料」は an entrance fee と表現します。選択肢①「運賃」は fare、②「罰金」は fine、④「自由」は freedom や liberty です。

◆補足：お金に関する単語は、特定の文脈で使い分けが必要です。fee は専門家への支払いや特定のサービスへの対価、fare は交通機関の料金、charge はサービスに対する一般的な料金、price は商品の値段、といった違いを理解することが重要です。

23.

解答 ②

【解説】

英単語「sculpture」は、「彫刻、彫刻作品」という意味の名詞です。石や木、金属などを彫ったり、粘土を形作ったりして作られる立体的な芸術作品を指します。例えば、「大理石の彫刻」は a marble sculpture と表現します。選択肢①「構造」は structure、③「聖書」は scripture、④「署名」は signature です。

◆補足：sculpture は、芸術作品そのもの（可算名詞）と、彫刻という芸術分野（不可算名詞）の両方を指します。この単語から、動詞 sculpt（～を彫刻する）や、人物を指す sculptor（彫刻家）を派生させて覚えることができます。

24.

解答 ②

【解説】

英単語「afterward」は、「その後、あとで」という意味の副詞です。ある出来事が終わった後の時点を指します。文頭、文中、文末のいずれにも置くことができます。例えば、「会議は2時に終わり、その後私たちは昼食をとった」のように使います。選択肢①「前方に」は forward、③「それにもかかわらず」は nevertheless、④「一方では」は meanwhile や on the other hand です。

◆補足：afterward は、特にイギリス英語では afterwards と -s を付けて表記されることも多いです。after も単独で副詞として使われることがありますが、afterward(s) の方がよりフォーマルな響きがあります。

25.

解答 ③

【解説】

英単語「material」は、「材料、素材」や「(研究・執筆などの) 資料、データ」という意味の名詞です。物が作られる元の物質や、何かを行うための情報などを指します。例えば、「建築資材」は building materials、「会議の資料」は conference materials と表現します。選択肢①「結婚」は marriage、②「多数」は majority、④「奇跡」は miracle です。

◆補足：material は、文脈によって可算名詞にも不可算名詞にもなります。具体的な「材料」や「資料」を複数指す場合は materials となります。また、形容詞としては「物質的な、物理的な」という意味を持ち、spiritual（精神的な）の対義語として使われます（例：material wealth 物質的な富）。

26.

解答 ④

【解説】

英単語「train」は、乗り物の「電車」や動詞の「訓練する」という意味がよく知られていますが、名詞として「一連、連続」という意味も持ちます。つながった出来事や考えなどを指します。例えば、「一連の出来事」は a train of events、「一連の考え」は a train of thought と表現します。選択肢①「小道」は trail、②「罠」は trap、③「痕跡」は trace です。

◆補足：この「一連」という意味は、車両が連なって進む電車のイメージから来ています。物がずらっとつながっている様子を思い浮かべると理解しやすいでしょう。文脈によっては意味を誤解しやすい多義語なので注意が必要です。

27.

解答 ①

【解説】

「～を所有している」という意味に最も近い英単語は①の own です。何かが法的に自分のものである状態を表します。例えば、「彼は家を所有している」は He owns a house. と表現します。他の選択肢について、② owe は「～に（金銭など）を借りている、～のおかげである」、③ borrow は「～を（無料で）借りる」、④ lend は「～を（無料で）貸す」という意味で、所有や貸し借りの関係が異なります。

◆補足：own は動詞の他に、形容詞として所有格を強調する用法も重要です（例：my own room 私自身の部屋）。名詞形は owner（所有者）です。

28.

解答 ①

【解説】

「世代」という意味に最も近い英単語は①の **generation** です。社会における、ほぼ同じ年齢層の人々の集まりを指します。また、家族における「代」（例：三世代家族）や、「生成、発生」という意味もあります。他の選択肢について、② **graduation** は「卒業」、③ **gratitude** は「感謝」、④ **government** は「政府」を意味します。

◆**補足**：**generation** は、動詞 **generate**（～を生み出す）の名詞形です。接頭辞 **gen-** は「生む」に関連する言葉によく見られ、**gene**（遺伝子）や **genetic**（遺伝子の）も同じ語源グループに属します。**generation gap**（世代間格差）などの複合語も頻出です。

29.

解答 ③

【解説】

「注意、注目」という意味に最も近い英単語は③の **attention** です。何かを注意深く聞いたり、見たり、考えたりする行為、またその精神状態を指します。例えば、「注意を払う」は **pay attention** と表現します。他の選択肢について、① **intention** は「意図」、② **attraction** は「魅力、引きつけるもの」、④ **attitude** は「態度」という意味です。

◆**補足**：**attention** の動詞形は **attend** で、「～に出席する」という意味の他に、「注意して聞く」という意味もあります。**get someone's attention**（誰かの注意を引く）や **draw attention to ~**（～への注意を喚起する）といった表現も頻出です。

30.

解答 ③

【解説】

「～を展示する、陳列する」という意味に最も近い英単語は③の **display** です。人々が見られるように、物や情報を配置することを指します。例えば、「博物館は古代の遺物を展示している」のように使います。他の選択肢について、① **delay** は「～を遅らせる」、② **despise** は「～を軽蔑する」、④ **displease** は「～を不快にさせる」という意味です。

◆**補足**：**display** は名詞としても使われ、「展示、陳列」やコンピュータの「ディスプレイ（画面）」を意味します。また、動詞としては比喩的に「（感情や能力など）を表に示す」という意味でも使われます（例：**display great courage** 大いなる勇気を示す）。

31.

解答 ③

【解説】

「～するのに苦労する」という意味に最も近い英語表現は③の **have trouble doing** です。何かを行う上で困難を経験することを表します。例えば、「私は新しい環境に慣れるのに苦労した」は **I had trouble getting used to the new environment.** と表現します。他の選択肢について、① **have fun doing** は「～して楽しむ」、② **succeed in doing** は「～することに成功する」、④ **give up doing** は「～することをあきらめる」という意味です。

◆補足：この構文では、動名詞の前の前置詞 **in** が省略されるのが一般的です。**trouble** は不可算名詞として扱われます。同様の表現に **have difficulty (in) doing** があり、ほぼ同じ意味で使われます。

32.

解答 ③

【解説】

「効果的に」という意味に最も近い英単語は③の **effectively** です。望ましい結果や意図した結果を生み出すような方法で、ということの意味します。例えば、「時間を効果的に使う」は **use time effectively** と表現します。他の選択肢について、① **efficiently** は「効率的に（無駄なく）」、② **eventually** は「最終的には」、④ **especially** は「特に」という意味の副詞です。

◆補足：**effectively** と **efficiently** の違いは重要です。**effectively** は「目的を達成できるか（有効性）」に焦点を当てるのに対し、**efficiently** は「時間や資源を無駄にしていないか（効率性）」に焦点を当てます。また、**effectively** には「事実上は、実質的には」という意味もあります（例：The company is effectively controlled by his son.）。

33.

解答 ①

【解説】

「(会社や大学の) 部門、学部」という意味に最も近い英単語は①の **department** です。より大きな組織の中の、特定の機能を持つ一つの部署を指します。例えば、「営業部」は **the sales department**、「法学部」は **the law department** と表現します。他の選択肢について、② **appointment** は「予約、任命」、③ **apartment** は「アパート」、④ **agreement** は「合意」を意味します。

◆補足：デパートを意味する **department store** は、様々な商品を扱う部門 (**departments**) が集まった店 (**store**) であることから来ています。動詞の **depart** (出発する) とは直接的な意味の関連性が薄いので、混同しないようにしましょう。

34.

解答 ②

【解説】

「虐待、乱用」という意味に最も近い英単語は②の **abuse** です。人や動物に対する不当で残酷な扱いや、薬物や権力などの誤った使い方を指す名詞です。例えば、「児童虐待」は **child abuse**、「薬物乱用」は **drug abuse** と表現します。他の選択肢について、① **amuse** は「～を楽しませる」、③ **accuse** は「～を非難する」、④ **refuse** は「～を拒否する」という意味の動詞です。

◆補足：**abuse** は動詞としても使われ、その場合は「～を虐待する、～を乱用する」という意味になります。名詞 /ə'bjʊ:s/（アビュース）と動詞 /ə'bjʊ:z/（アビューズ）で最後の音が濁るかどうかの違いがありますが、日本語のカタカナ表記では区別が難しいので文脈で判断しましょう。

35.

解答 ①

【解説】

「～に（…を）知らせる」という意味に最も近い英単語は①の **inform** です。相手に必要な情報や事実を公式に、あるいは明確に伝えることを指します。**inform A of B** や **inform A that ...** の形で使われることが多いです。他の選択肢について、② **inquire** は「尋ねる」、③ **insist** は「主張する」、④ **infer** は「推論する」という意味です。

◆補足：**inform** は、**tell** よりもフォーマルな言葉です。名詞形は **information**（情報）で、この単語は不可算名詞であることに注意が必要です。形容詞形の **informative** は「情報に富んだ、有益な」という意味で、プレゼンテーションや本などを評価する際に使われます。

36.

解答 ②

【解説】

「～を借りる」という意味に最も近い英単語は②の **rent** です。家、部屋、車などを、お金を支払って一定期間使うことを指します。例えば、「アパートを借りる」は **rent an apartment** と表現します。他の選択肢について、① **lend** は「～を（無料で）貸す」、③ **borrow** は「～を（無料で）借りる」という意味です。④ **hire** は人を「雇う」の他、イギリス英語では物を「借りる」という意味でも使われます。

◆補足：**rent** は名詞としても使われ、「家賃、賃貸料」を意味します。貸し借りに関する動詞は混同しやすいため、お金を払うのが **rent**、無料なのが **lend/borrow** と区別することが重要です。

37.

解答 ④

【解説】

英単語「**virtually**」は、「事実上、実質的には」という意味の副詞です。名目上や形式上は違うかもしれないが、実際の内容はほとんど同じであることを示します。**almost** と非常に近い意味で使われま

す。例えば、「そのプロジェクトは事実上完了した」のように使います。選択肢①「垂直に」は vertically、②「視覚的に」は visually、③「生き生きと」は vividly です。

◆補足：近年では、コンピュータによって作られた仮想空間を指す virtual reality（バーチャルリアリティ）という言葉から、「仮想的に」という意味で使われることも増えています。元々の「事実上」という意味と、新しい「仮想的に」という意味の両方を文脈で判断する必要があります。

38.

解答 ②

【解説】

英語表現「do away with ～」は、「～を廃止する、なくす」という意味です。時代遅れの規則や習慣、不要になった物などを取り除くことを表します。例えば、「その古い法律は廃止されるべきだ」は That old law should be done away with. のように受け身で使われることも多いです。選択肢①「～なしで済みます」は do without ～、③「～と関係がある」は have something to do with ～ が対応します。④は誤解です。

◆補足：類義語の abolish は do away with ～ よりもフォーマルな言葉で、法律や制度の廃止によく使われます。get rid of ～ はより口語的で、広範囲な「～を取り除く」という意味で使われます。

39.

解答 ①

【解説】

英単語「exhibition」は、「展覧会、展示会」という意味の名詞です。美術品や工業製品などを、一般の人々に見せるために公の場で展示する催しを指します。例えば、「美術展」は an art exhibition と表現します。選択肢②「禁止」は prohibition、③「探検」は expedition、④「期待」は expectation です。

◆補足：exhibition は、動詞 exhibit（～を展示する）の名詞形です。語源はラテン語の ex-（外へ）と habere（持つ）で、「外に持ち出して見せる」というイメージが核となっています。

40.

解答 ③

【解説】

「～を改良する、アップグレードする」という意味に最も近い英単語は③の upgrade です。持っている製品やサービスを、より新しく性能の良いものに格上げすることを指します。例えば、「コンピュータのメモリをアップグレードする」のように使います。他の選択肢について、① update は「～を最新の状態に更新する」、② upload は「～をアップロードする」、④ uphold は「（法律など）を支持する」という意味です。

◆補足：upgrade の対義語は downgrade（格下げする）です。名詞としても使われ、その場合も「アップグレード、改良」を意味します。航空券やホテルの部屋の等級を上げる際にもよく使われる単語です。

41.

解答 ①

【解説】

「退職する、引退する」という意味に最も近い英単語は①の retire です。主に高齢のために、仕事を辞めて職業生活を終えることを指します。例えば、「彼は 65 歳で退職した」は He retired at the age of 65. と表現します。他の選択肢について、② require は「～を要求する」、③ regret は「～を後悔する」、④ relate は「～に関連づける」という意味です。

◆補足：retire は、スポーツ選手などが現役を「引退する」という意味でも使われます。名詞形は retirement（退職、引退）で、retirement age（定年）や retirement plan（退職金制度）といった複合語も重要です。

42.

解答 ②

【解説】

英単語「range」は、「範囲」という意味の名詞です。ある特定の種類に属する、様々な物事の集まりや、上限と下限の間の領域を指します。例えば、「幅広い価格帯」は a wide range of prices と表現します。選択肢①「変化」は change、③「雨」は rain、④「奇妙な」は形容詞で strange です。

◆補足：range は、動詞として「(範囲が) A から B に及ぶ」という意味も持ち、range from A to B の形で頻繁に使われます。また、a mountain range（山脈）や a shooting range（射撃場）のように、特定の場所を指すこともあります。

43.

解答 ①

【解説】

英語表現「be well off」は、「裕福である、暮らし向きが良い」という意味です。たくさんのお金を持っている状態を表します。例えば、「彼は裕福な家庭の出身だ」は He comes from a well-off family. と表現します。選択肢②「健康である」は be well や be healthy、③「出発する」は be off、④「うんざりしている」は be fed up with ～ が対応します。

◆補足：well-off はハイフンで繋いで一語の形容詞として使われることもあります。対義語は be badly off（貧乏である）です。また、be better off は「(～する方が) より良い暮らしになる、より得である」という意味で、仮定法などでも使われる重要表現です。

44.

解答 ③

【解説】

英単語「general」は、「一般的な、全般的な」という意味の形容詞です。特定のものに限定されず、全体に関わることや、広く普通であることを表します。例えば、「一般的に言って」は **in general** や **generally speaking** と表現します。選択肢①「寛大な」は **generous**、②「遺伝子の」は **genetic**、④「本物の」は **genuine** です。

◆補足：general は、名詞として使われると「将軍」という意味になる点にも注意が必要です。ラテン語の **genus**（種族、種類）が語源であり、「種族全体に関わる」というイメージが「一般的な」という意味につながっています。

45.

解答 ③

【解説】

英単語「conference」は、「(公式な) 会議、協議会」という意味の名詞です。特定のテーマについて討議するために、多くの人が集まる比較的規模の大きな公式の集まりを指します。例えば、「記者会見」は **a press conference** と表現します。選択肢①「自信」は **confidence**、②「結果」は **consequence**、④「参照」は **reference** です。

◆補足：一般的な「会議」を指す **meeting** と比べて、**conference** はより専門的で、数日間にわたって開催されるような大規模なものを指す傾向があります。動詞形は **confer** で、「協議する、相談する」という意味です。

46.

解答 ①

【解説】

英単語「appetite」は、「食欲」という意味の名詞です。食べ物が欲しいという身体的な欲求を指します。例えば、「食欲がある」は **have a good appetite**、「食欲がない」は **have no appetite** と表現します。選択肢②「才能、適性」は **aptitude**、③「態度」は **attitude**、④「拍手」は **applause** です。

◆補足：appetite は、物理的な食欲だけでなく、比喩的に何かに対する強い「欲求」を表すのにも使われます。例えば、**an appetite for knowledge**（知識欲）や **an appetite for adventure**（冒険心）のように用いられます。形容詞形は **appetizing**（食欲をそそる）です。

47.

解答 ④**【解説】**

「特に」という意味に最も近い英語表現は④の **in particular** です。多くのものの中から、特定の一つを強調して取り上げる際に使われます。副詞の **particularly** とほぼ同じ意味です。例えば、「私は音楽が好きですが、特にクラシックが好きです」のように使います。他の選択肢について、① **in general** は「一般に」、② **in vain** は「無駄に」、③ **in turn** は「順番に、今度は」という意味の熟語です。

◆**補足**：**in particular** は、文頭、文中、文末など、文中での位置が比較的自由なのが特徴です。類義語の **especially** も「特に」という意味ですが、**in particular** はよりフォーマルな響きを持つことがあります。

48.

解答 ①**【解説】**

英単語「**layout**」は、「配置、レイアウト、設計」という意味の名詞です。建物、部屋、庭、雑誌のページなどの各部分がどのように配置されているか、その構成を指します。例えば、「オフィスのレイアウト」は **the layout of the office** と表現します。選択肢②「見通し」は **outlook**、③「出発」は **departure**、④「支出、店舗」は **outlet** です。

◆**補足**：**layout** は、句動詞 **lay out**（～を広げる、～を設計する）から作られた複合名詞です。デザイン、建築、出版などの分野で専門用語としてよく使われますが、日常生活でも部屋の模様替えなどで使われる身近な単語です。

49.

解答 ③**【解説】**

「価値のある、高価な」という意味に最も近い英単語は③の **valuable** です。金銭的に価値が高いことや、非常に重要で役立つことを示します。例えば、「貴重な経験」は **valuable experience** と表現します。他の選択肢について、① **available** は「利用できる、入手できる」、② **variable** は「変わりやすい」、④ **visible** は「目に見える」という意味の形容詞です。

◆**補足**：**valuable** は、名詞 **value**（価値）に、形容詞を作る接尾辞 **-able** が付いた形です。注意すべきは、否定の接頭辞 **in-** が付いた **invaluable** が「価値がない」ではなく、「評価できないほど貴重な」という、**valuable** よりもさらに価値を強調する意味になる点です。

50.

解答 ④

【解説】

英語表現「in reality」は、「実際には、現実には」という意味です。外見や想像、理想などとは異なる、本当の状況を述べる際に使われます。例えば、「彼は金持ちそうに見えるが、実際には借金がある」のように使います。選択肢①「要するに」は in short、②「順番に」は in turn、③「結局」は in the end です。

◆補足：in reality は、文頭や文末で、対比のニュアンスを強調するためによく使われます。類義語として actually や in fact がありますが、in reality は特に「見かけや理想と現実とのギャップ」を際立たせる効果があります。
